

声楽 アドバイザー



城守 香

鹿沼市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科声楽専攻卒業。

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程ソロ科修了。

在学中より数多くの演奏会に出演し、'96年ポーランドに於いて G. カリッシミ「イエフテ」の史家を歌い、海外においても演奏活動を始める。以後、韓国ソウル“芸術の殿堂”にて G. フォーレ「レクイエム」op. 48(声合唱版)のアルト・ソロを、ドイツ・マンハイムに於いて W. ウィリアムス「マグニフィカート」マリア役を歌う。'03年 G. ビゼー 歌劇「カルメン」(メルセデス)を歌い、オペラデビュー。主に歌曲、オラトリオ(宗教曲)の研鑽を積み、ライプツィヒ、ハンブルクにて J. S. バッハ「クリスマス・オラトリオ」、パート・ハー ツブルクに於いて「マタイ受難曲」アルトソリストとして出演。これまでに G. ヘンデル「メサイア」、W. A. モーツァルト「レクイエム」、J. S. バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ」「クリスマス・オラトリオ」、L. V. ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」「交響曲第9番(合唱つき)」、G. ロッシーニ「小荘厳ミサ」、メンデルスゾーン「エアラス」、ドヴォルザーク「スタバト・マーテル」、G. ヴェルディ「レクイエム」、M. デュリュフレ「レクイエム」等のソリストを務める。オペラレパートリーとして、ロッシーニのオペラをはじめ G. ヴェルディ『アイーダ』(アムネリス)、『ドン・カルロ』(エボリ公女)などがある。'03年よりドイツ連邦共和国終身プロフェッサーを受称されている小松英典教授の薫陶を受けドイツ(ハンブルク)へ留学。'15年5月に完全帰国。

第10回宝塚ベガ音楽コンクール声楽部門第三位。第22回奏楽堂日本歌曲コンクール第一位。第4回竹久夢二コンクール第一位。東京シェーネシュティンメンコア、座間ひまわり合唱団指導。鹿沼ふるさと大使。2020年秋、初のCD「日本歌曲集～ひがんばな」をリリース。藤原歌劇団正団員。日本オペラ協会正会員。宇都宮短期大学音楽科客員教授。

～はじめに～

最も身近で非常にデリケートな楽器である声楽。自分の身体を楽器として用いることは、わが身を自由に使えば良いのですから、他の楽器を奏でるよりも寧ろ簡単なように思えますが、自分の身体をある程度自由に使えるようになるまでの道のりは、大変な努力と只管忍耐が必要です。しかし、努力を積んで本番に臨み、学び得たことを存分に生かして演奏できた時には、達成感と何物にも代えがたい喜びが全身を貫きます！まさに至福の時です。更に聞いてくださる方々と音楽の感動を共有できたなら、その喜びは益々拡大されます。

それでは私の経験値に於いて、これから演奏家を目指される皆さんに激励の思いを込めて、メッセージをお伝えしたいと思います。

1. 発声・音程・発音

歌は音程が命です。正しい音程は、よい発声の上に成り立ちます。歌は内耳、外耳の両方で自分の声を聞いて音程が正しいかどうかを判断しますので、ほんの少しの内外的要因により、正しい音程で演奏している積りでも、ズレが生じてしまいます。正確に判断できる耳を育て、自分の声や癖をよく把握し、練習室やホール等、場所が変わっても正しい音程で歌える

よくなることは、日々の鍛錬の賜物です。また、演目、会場の大きさや残響時間等々で歌い方＝発声方法を考えなくてはなりません。その為には、歌い方を変えられるだけの身体作りと感覚を身に着ける必要があります。歌うことと同時に身体作りとして、筋トレ、有酸素運動等をするのは有効的といえるでしょう。さて、発音についていえば、歌うための発音はお話しの発音とは若干異なります。歌には歌詩(歌詞)がついており、詩の心情と共に曲の情感を奏でなくてはなりません。詩の解釈は非常に重要です。演奏家に委ねられた課題は、その力量をもって作詞家・作曲家の意図を汲み、己のものとして再現できるかどうかです。発音について、母音の安定と子音の明瞭さは音楽のニュアンスとして表れます。

2. 大ホールでの演奏

私達は、基本的にはマイクを通さずに演奏するのが常ですから、ホールの特徴を知ることは、演奏の善し悪しを左右する事となります。残響時間等のチェックはとても重要です。生身の身体で演奏するということは、音の大きさや音域の限界があります。余りに無理をして大声や高音を出せば、喉を壊してしまう可能性があります。過不足ない声量で破綻なく歌えるようになることを目標としましょう！世界に一つしかない貴重な楽器ですから、大切になさってください。

～まとめ～

これまでリサイタル、オペラ、オラトリオ
(宗教音楽)に於いて大ホールで歌う機会
を戴いてきました。満席の聴衆を前に、華
麗なる舞台に出演させて戴くこともありまし
たが、少しの勉強の後、すぐにその様な機



会を得られるわけではなく、日々の努力の積み重ねにより、お客様に感激
して喜んでいただくことができます。失敗を恐れることなく、積極的に舞
台経験を積んでください。舞台の上では一人です。ピンチも自分の力で乗
り越えなくてはなりません。様々な音楽や舞台を通じて責任感を養い、演
奏させて戴く感謝を忘れないようにしましょう！音楽を通じて人、物、事との良



いご縁を戴けることは
宝物です。未来に羽
ばたくひよこさん達に
エールを送りま
す！！
Viel Erfolg !